



一中だより

第7号
令和6年11月



学校教育目標：はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成

校長室から

先日の参観日並びにPTA教育講演会では、多くの保護者の方の参加をいただき大変ありがとうございました。PTA教育講演会では新見ライオンズクラブの主催で、講師にクロフネカンパニー代表取締役社長の中村文昭さんをお迎えし「何のために」という演題でご講演いただきました。何のために人生を歩むのか？その答えは「人を喜ばせるために生きるのである」という内容のお話でした。「頼まれごととは試されごと」という言葉を例に、その人のものの考え方一つで人生が大きく変わるというものでした。



これと同じような考え方をを持った人が心学研究家でもあり教育研究家の小林正観さんです。彼も人生の目的の一つが「人を喜ばせることである。」と語っています。また人が生まれた時に持つ感情は、寝ることで安らぐ・おなかが減ったなどの訴えのために泣く・目が合って笑顔になるという3つの感情しか持っていないというのです。怒るとか恨むとかといった感情は、家族や社会から後に植えつけられる感情で、すべて演技だそうです。最初から持っている三つの感情にエネルギーはならず、のちに植えつけられる感情は演じ続けなければならないから大量のエネルギーが必要だとも言っています。もっと楽にもっと楽しく人のために人生を楽しむべきだとも言っています。今回の公演では多くの中学生が感銘を受けたようです。1年生の女子が書いた感想の一部を載せてみます。

～中村さんの話ではとても共感することがたくさんあった。「頼まれごととは試されごと」という言葉で、私は「これならいまからでもすぐできることだな」と思った。・・・他には「何のために」という言葉だ。この「何のために」を考えることで回りに流されず、自分の意志で行動することができる。私は何でも「何のために」を考えてみようと思った。～

新見市中学生弁論大会

去る10月29日(火)に、哲西中学校で新見市中学生弁論大会が行われました。本校からは3年生上原七海さん、3年生吉国未裕さん、1年生谷岡遼太君が参加しました。結果は最優秀賞(1位)に上原七海さん、優秀賞(2位)に谷岡遼太君、優良賞に吉国未裕さんが選ばれました。3人とも大変立派な弁論だったと聞いています。上原七海さんは11月15日(金)に開かれた岡山県中学生弁論大会に出場しました。



県秋季大会の結果

県秋季大会が行われました。大会初日の11月2日(土)は、新見市に大雨警報が出ていたため中止となり保護者の皆さんにはご迷惑をおかけしました。女子テニス団体戦では1回戦は勝ちあがりでしたが、2回戦で惜しくも負けました。ソフトボール部は順当に3回コールドで優勝しました。また、クラブチームではありますが本校の生徒が所属するサッカーの高梁FCがベスト4進出で3位という素晴らしい結果でした。



新見市中学校駅伝競走大会

11月16日(土)には、新見市憩いとふれあいの公園ランニングコースで、第72回新見市中学校駅伝競走大会が開催されました。昨年からの生徒数の減少で男女混合によるチーム編成で競技することになっています。本校からは、3チームが参加しました。結果は、Aチームが3位と健闘しました。前日に岡山県中学校駅伝競走大会に出場しているので、本来の力が十分に発揮できなかった生徒もいるかもしれませんが、少しでも早くタスキをつなごうと懸命に走る姿は大変立派だったと思います。選手の皆さんお疲れさまでした。なお3年生の植田さんが区間一位の区間賞を取りました。



中一ギャップ解消事業

11月20日(水)には、令和7年度入学予定の一中学区市内8校から6年生107名(欠席あり)が中学校に一同に会して交流会や体験授業を行いました。スポ少などで顔なじみの児童もいましたが、模擬学校生活をするのは初めてで、緊張した面持ちで過



ごしていました。体験授業では、数学・英語・理科・社会・家庭科・美術の6教科のうちから希望する授業を受けました。